

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和 7 年度						
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		・ 社有地内に太陽光発電設備を設置、稼働させることにより、買電電力量を削減した。 ・ 所内各工場の空調機の更新および照明のLED化を行い、電力使用量を削減した。						
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度（令和 7 年度）			
					二酸化炭素換算(t)			
		☐ 森林の整備等			t-CO ₂			
		☐ 経済的手法の活用			t-CO ₂			
		グリーン電力証書の購入			t-CO ₂			
		グリーン熱証書の購入			t-CO ₂			
		オフセット・クレジットの購入			t-CO ₂			
		国内クレジットの購入			t-CO ₂			
		J-クレジットの購入			t-CO ₂			
		非化石証書の購入			t-CO ₂			
		合 計			① t-CO ₂			
	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (令和 4 年度)	目標年度 (令和 7 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和 7 年度)	対基準 年度比 (%)	
		温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t))② 244,066 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 238,575 t-CO ₂	97.8	(二酸化炭素換算(t))③ 361,466 t-CO ₂	148.1	
		☐ 差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t))② 244,066 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 238,575 t-CO ₂	97.8	(二酸化炭素換算(t))③-① 361,466 t-CO ₂	148.1	
		☐ 原単位排出量 A/B						
		温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B						
排出量等の増減理由		基準年度と比較して排出量が増加しているが、法改正等により非エネルギー項目での評価が追加となったためであり、エネルギー使用量については、概ね適正使用量であった。						
特記事項		森林保全活動として、社有地において植栽を実施した。						

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。